

9月下旬に台風12号が日本に接近するとともに、急に秋が深まって来たようで、清瀬第二中学校にやってくる昆虫たちも、そろそろ冬支度に入るようですね。

●ツマグロヒョウモン チョウ目 タテハチョウ科 ツマグロヒョウモン属



以前に紹介したヒメアカタテハに似た模様ですが、後ろ翅に黒い縁取りがあるのが特徴です。めすは前翅の先端が黒く白い線が入っているのが目立ちます。メスとオスで模様が随分と違いますが、花の周りで追いかっこをしているので、同じ仲間だとわかります。



もともと日本では沖縄や南西諸島などに生息する南方系の蝶ですが、近年になって関東の都市部でも見られるようになったとのことです。幼虫がパンジーなどを餌としているので、園芸植物に交じって、全国に生息域が広がったのではないかとされていますが、死滅しないのは冬でも暖かい都市や温暖化の影響もありそうですね。

問い? この蝶は「カバマダラ」という蝶に擬態をしていると考えられています。擬態とはどういうことでしょうか？ この蝶の場合は、どのような理由で擬態をしているのでしょうか？ 調べてみましょう！

●キタテハ チョウ目 タテハチョウ科 キタテハ属

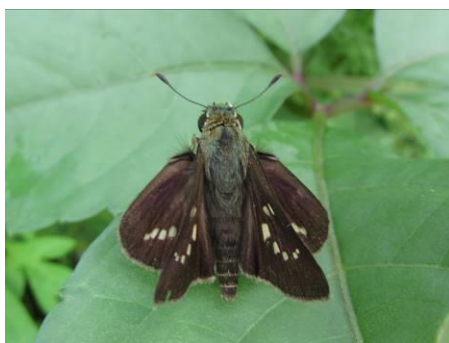
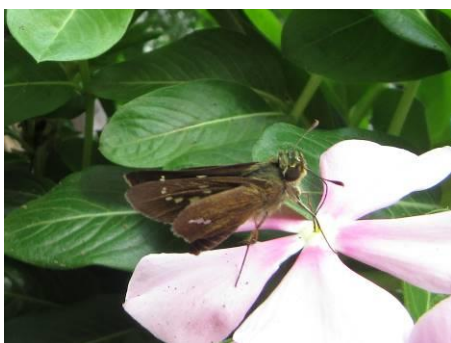


たこの個体は夏型のようなようです。今年の9月は、まだ暑かったですからね。

このキタテハもタテハチョウ科の仲間で、模様が似ています。

春から秋にかけて生息する蝶は、ひとシーズンで産卵と羽化を何回か繰り返す種類が多くいます。その中には季節により、模様が変化するものがあり、春型や夏型、秋型というように言われています。このキタテハも、夏型と秋型がいます。9月に会っ

●イチモンジセセリ チョウ目 セセリチョウ科 イチモンジセセリ属



セセリチョウの仲間は、体が太く短く、色も地味な茶色系が多く、蝶々らしくないと感じますが、よく見ると紙飛行機みたいな格好いい形をしています。

セセリチョウの見分け方は難しいのですが、後翅に一文字上に白い点があれば、イチモンジセセリです。たぶん学校付近のセセリチョウ

ウではこの種類が一番多いと思います。